

<文化系部活動も大活躍>

書道部は全道学生書道展で何度も団体最優秀賞に輝くなど大活躍。平成 5 年から 2 年連続で全国総文祭に出場しました。平成 6 年に全国出展された作品は今も校長室前に展示されているので探してみましょう。

美術部も毎年のように全道大会に出展を続けています。その作品は廊下や階段の踊り場に展示されています。かつては毎年、東陵・東豊との 3 校合同展覧会も行われていました。

家庭クラブも本校の特色ある課外活動のひとつ。道内では家庭科分野の学科のある学校に多いのですが、本校では 1 年生が全員加入。地域での活動のほか、家庭クラブ研究発表大会では、北海道代表として全国を舞台に活躍しています。

吹奏楽部は昭和 59 年にはじめて全道大会進出。平成 14・17 年には日本管弦合奏コンテスト全国大会で優秀賞を受賞したほか、地域の行事でも活躍しています。

写真部も徐々に実力をつけ、何度も全道大会進出を果たしています。

理科部は昭和 50 年代には 30 人前後の部員が在籍、全道理科研究発表大会で 3 度の総合賞に輝いています。



<放送局は全国の常連に>

昨年、NHK 放送コンテストラジオドキュメント部門で全国優勝を果たした放送局「OBS」。最近では関係者の中では「丘珠クオリティ」と表されています。昭和 56 年に全国大会初出場、その後は全国大会の常連となりました。特に、昭和 61 年テレビ自由部門全道最優秀賞に輝いた「丘珠に見る戦争の跡」（かつて丘珠小近くにあった戦闘機を守るための掩体壕を扱った作品）は、今も名作として語り継がれています。

11 月 2 日に行われる開校 50 周年記念式典の司会は本校放送部 OB で AIR-G' パーソナリティとして活躍されている、北川久仁子さん（CREATIVE OFFICE CUE 所属）に決定！

<そして、ついに全国制覇>

「優勝、札幌丘珠高校」NHK ホールに響き渡りました。平成 7 年度 NHK 全国放送コンテストで研究発表部門と創作ドラマ・ラジオ部門でついに 1 位文部大臣賞に輝きました。同年 12 月には千代田杯全国大会アナウンス部門で、平成 9 年には NHK 全国放送コンテストテレビ番組部門で全国制覇を成し遂げました。



放送局の活動を伝える新聞

<こんな部活動も！>

かつて存在した「点訳部」。開校とともに創部し、年間 2 千ページを目標に書籍の点字翻訳を行い、札幌盲学校の生徒に寄贈していたそうです。その活動が評価され、3 年連続で国ソロプチミスト賞を受賞した記録が残っています。実はボランティア部の前身なんです。

パソコン研究同好会も精力的に活動し、全国高校生パソコンソフトコンテスト「ゲーム部門」で優秀賞を獲得しました。

その他、演劇部や図書部、ESS 部なども活動していました。

【丘珠高クイズ vol.2】

かつて体育の授業時や体育祭の際に丘珠高校オリジナルなあることが行われていました。それって何でしょう？

【vol.1 の答え：全部】①は U17 日本代表にも選出された経験を持つ現役選手、③道内外の大学で活躍されている大学教授が複数人います。